

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 使命・目的との適合性、および学術の進展や社会との要請との適合性の観点から、学部研究組織の編成原理や編成のあり方を検証する。	→各学科による年1回の検証。	B
2. 実習・インターンシップのサポート体制と組織のあり方について検証する。	→各学科による年1回の検証。	—

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

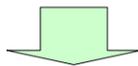
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) 各学科で毎年度検証を行ない、これまでのところ教育研究組織は適切であると判断している。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 教育研究組織の適切性について学科で検証で行なっているが、実習とインターンシップは今年度からの開始であるため、年度末に検証する予定である。
☆ その他	進捗評価の「—」は、今年度から実習・インターンシップが開始されたところなので、評価不可能であることを表している。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	社会福祉学科は、昨年以上の実習サポート体制での学生指導を今夏より部分的に試行する。
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	定例の学科会議日以外で検討の場を設ける。
☆ 小項目4.0.2	各学科で検討した上、学科間で情報を共有する。実践教育支援室は情報を集約し、学部全体としてのサポート体制を総括する。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
☆ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 【学外委員】
○実習、インターンシップに関する検証結果が期待されます。
- 【学内委員】
○各学科で毎年、教育研究組織の検証を行っていることは評価できます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ なし

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

<個別的な指標>
